

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 (中国語学中国文学 専攻分野)

一、次の文章は蘇軾「晁繹先生詩集敘」である。問題文の左側に、現代仮名遣いによる書き下し文と現代日本語訳を、それぞれ記しなさい。なお、問題文は1頁から3頁までである。

孔子曰：「吾猶及史之闕文也。有馬者借人乘之，今亡矣夫。」史之不闕文，與馬之不借人也，豈有損益於世也哉？然且識之，以爲世之君子長者，日以遠矣，後生不復見其流風遺俗，是以日趨於智巧便佞而莫之止。是二者雖不足以損益，而君子長者之澤在焉，則孔子識之，而況其足以損益於世者乎。

昔吾先君適京師，與卿士大夫遊，歸以語軾曰：「自今以往，文章其日工，而道將散矣。士慕遠而忽近，貴華而賤實，吾已見其兆矣。」以魯人臧繹先生之詩文十餘篇示軾曰：「小子識之。後數十年，天下無復爲斯文者也。」先生之詩文，皆有爲而作，精悍確苦，言必中當世之過，鑿鑿乎如五穀必可以療飢，斷斷乎如藥石必可以伐病。其遊談以爲高，枝詞以爲觀美者，先生無一言焉。

其後二十餘年，先君既没，而其言存。士之爲文者，莫不超然出於形器之表，微言高論，既已鄙陋漢、唐，而其反復論難，正言不諱，如先生之文者，世莫之貴矣。軾是以悲於孔子之言，而懷先君之遺訓，益求先生之文，而得之於其子復，乃錄而藏之。先生諱太初，字醇之，姓顏氏，先師兗公之四十七世孫云。

二、次の三項について、それぞれ二百字程度で解説しなさい。

- ① 駢文 ② 隋書経籍志 ③ 馮夢龍

受験記号番号

5 / 6

受験記号番号

6 / 6

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.